

令和4年度入学者選抜から生徒募集開始する「地域創造農学科」での学び

チーム農林（職員・家庭・地域）で生徒を支え・育てます！

1 生徒育成方針 ～このような力を伸ばします～

☆地域の拠点校として北信州の未来を支える人を育て、地域や上級学校に送り出します。

○「新たな社会を創造」ため、以下の力を身に付けます。

- ・学び直しや各種資格取得に挑戦する中で、基礎学力を！
- ・インターンシップやデュアルシステム等に参加する中で、礼儀・マナー・人間力を！
- ・地域連携や伝統産業の技術の伝承に取り組む中で、表現力・コミュニケーション能力を！
- ・生徒会活動・クラブ活動や各コースでの研究等に取り組む中で、課題解決力を！

2 教育課程編成・実施方針 ～このような学びをします～

☆職員・家庭・地域が一体となって生徒を支え、以下のような教育を提供します。

○80人を3クラスに分け、少人数できめ細やかな指導を実施します。

- ・普通教科と1年次の農業科目はクラス単位（27人以下）での授業
- さらに、①数学と英語は少人数（20人以下）の習熟度別
- ②2年次以降のコース研究は、課題や専攻ごとに概ね7人程度の班編成
- ⇒基礎学力の保障、個に即した丁寧な指導を実現

○地域連携や課題研究に主体的に励み、将来の目標の実現に結びつく学びを展開します。

- ・1年次の北信州学で、地域の環境・文化・産業に関するキャリア等の探究活動を実践
- ・2年次以降の特色ある科目や専門科目等で、「地域を学びのフィールド」に学習を実施
- 具体的には、①2年次のマーケティングで、地域資源の掘起しと活用に関する実践的な学習
- ②専門科目で、地域に出向いての連携事業や農場等を活用した交流活動
- ⇒地域のニーズを知り、自分にあった地域貢献の方法を確認・実践し、希望する進路を決定

○働くことの意義や喜びを実感し、地域を支えるチーム力を身につけるための学習を展開します。

- ・各コースでの実践的な学習や地域の課題解決にコース一丸となって挑戦
- 具体的には、①課題研究では、地域の課題に対して科学的な観点で解決策を検討
- ②活動を通じて社会で使える知識・技能を習得して進路実現
- ③個々の力を集結することで一人ではできないことを実現
- ⇒実学を通してこれからの時代を生き抜くために必要な課題解決力を習得し、進路を実現

☆具体的には、以下の力を身につけるための学びを展開し、地域に飛び立っていきます。

「自分の意見や考えをきちんと言える力」がつかます

- ・実践的、探究的な授業（実習や課題研究、レポート、意見発表、各種コンテストなど）
- ⇒「自分で課題を見つけ、解決策を考え、調べ、まとめ、発表する」学び
- ⇒「地域の身近な課題を発見し、学んだ知識や技能を活用して課題の解決方法を探る学び
- ・少人数でのきめ細やかな指導（少人数クラス、少人数授業）

他者と協働する力・コミュニケーション能力がつかます

- ・グループ学習や実習、農業クラブの活動で仲間と協力しながら学習
- ・校外実習やボランティア活動等、いろいろな年齢の方との交流（園児からお年寄りまで）、デュアルシステムへの参加、道の駅等での販売イベントの運営
- ・海外との交流（県が企画する海外研修への参加、国際教育研究部による現地調査、英語弁論大会への参加）、大学等との地域活性に関する連携によるグローバルな学習

一般常識や社会人としてのマナーが身につきます

- ・1年生から3年生まで、一貫したキャリア教育を3年間実施
⇒「10年後、20年後の自分」と「地域」を設計
- ・年2回のキャリアウィーク（1・2年生は農家・企業・施設・専門学校での実習）
- ・基礎学力の習得（1年次：学び直しを含む科目「北信州学」、2年次：学び直し科目「カルチャーセッション」）

各種の資格が取得できます

- ・建設車両系の運転技能講習（フォークリフト、ローラー、クレーン、高所作業車など）、玉掛け技能講習 ※校内の資格取得教育振興会が後援
- ・林業機械安全講習（チェーンソー、刈り払い機）
- ・農業系の検定（日本農業技術検定、農業クラブ検定）
- ・その他の検定（危険物取扱者、毒物劇物取扱者、日本漢字能力検定、実用英語技能検定、実用数学技能検定、ワープロ能力検定、情報処理、文書デザイン、プレゼンテーション作成検定）

進学希望にも対応しています

- ・大学・短大・専門学校への進学にも十分対応
- ・約5割の生徒が大学・短大・専門学校に進学し、上級学校卒業後は約4割は地元に戻ってきて就職し、地域の未来を創造

★学びのステージ 入学後に学習する内容を選択

【1年】

- ・全員同じ科目を学習（普通教科必修科目、農業科目）
- ・後半に2年次から始まるコース選択



【2・3年】

産業創造コース・・・農産物の生産からマーケティング・流通・販売までを総合的に学習
⇒農業の6次産業化の実践によるローカルブランドの確立
地域産業の発展に寄与

環境創造コース・・・環境デザイン、森林の活用と保全、資源循環、地域防災・地域文化の継承
⇒地域活性化プロジェクト等による地域の課題解決に積極的に参画
地域環境の創造に寄与

【授業以外では】・・・農業クラブでのボランティア活動及び発表会等への参加

- ・ボランティア活動：要注意外来生物（ハルサキヤマガラシ、アレチウリ等）の生育マップ作成と駆除、地域環境整備（各所の庭園等）
- ・各種競技（家畜審査、平板測量、フラワーアレンジメント、農業鑑定）
- ・意見発表会、プロジェクト（研究）発表会（校内発表→県大会→北信越大会→全国大会）
- ・各種コンクール等（高校生お米甲子園、高校生パンコンテスト、高校生そば打ち選手権等）

3 生徒募集方針 ～このような皆さんを待っています～

☆農林業を主とする「地域」に特化した探究的な学びについて興味・関心があり、生徒会活動や部活動において意欲的に活動し、入学後も学業との両立を目指す人を待っています。

○地域をフィールドに、情熱をもって夢を実現すべく前進する、以下のような人の入学を待っています。

- ・授業や資格取得等に全力で取り組み、基礎から探究力を身につけたい人。
- ・動物の飼育や活用、農作物の栽培や技術の普及、森林資源の活用や環境保全、地域防災等について前向きに取り組み、全力で地域の発展を支えたい人。
- ・食品開発や普及、地域資源の活用、地域の伝統産業に関する技術の伝承等について積極的に地域と協働し、関連産業の発展に貢献したい人。